

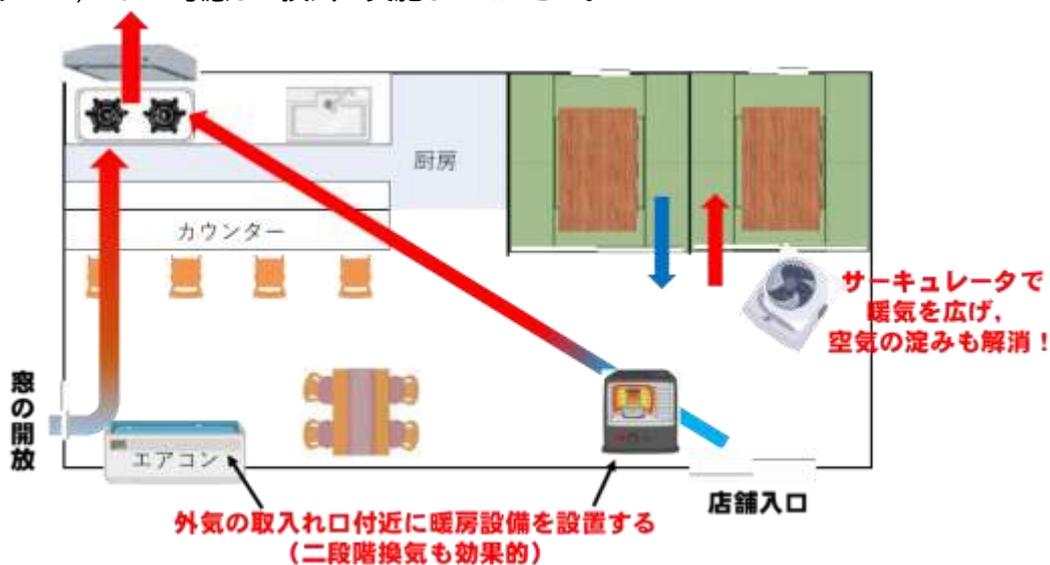
感染防止のための換気方法について

- ◎ 引き続き、認証店でクラスターを発生させることなく、持続的に事業活動が展開できるよう、皆さまの御協力をお願いします！
- ◎ 特に、外気温が低い冬場は、換気量の不足により感染リスクが高まるおそれがあります。

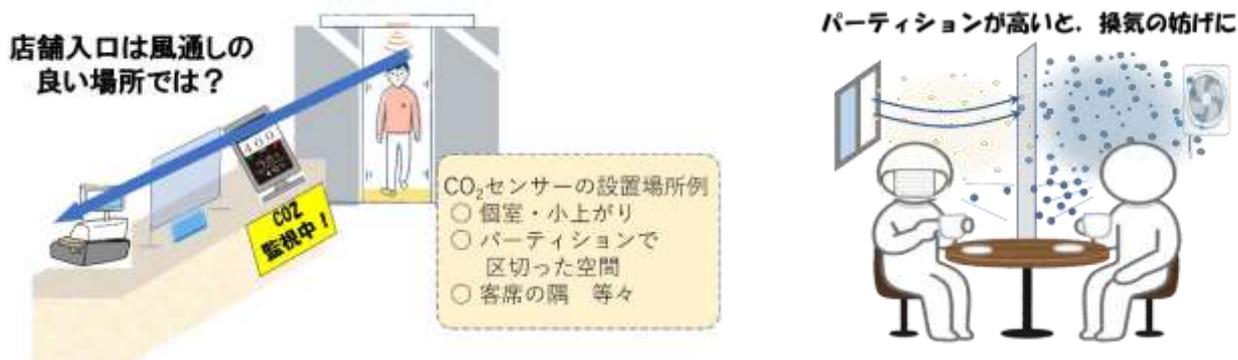


① 客席各所の CO₂ 濃度が 1,000ppm を超えないよう、適切に換気を実施する

- ☞ 換気設備を稼働させながら、ドア・窓を一部開放し、外気を取り入れることが重要です。
- ☞ 外気(冷気)は床付近に滞留しやすく、サーキュレータ等で室内上部の暖気とかくはんすることで、足元の寒さを解消しながら、効果的に換気を行うことができます。
- ☞ カセットコンロや暖房のための開放型燃焼器具(ストーブ、ファンヒーター等)によっても CO₂ 濃度は上昇しますので、これを考慮して換気を実施してください。



- ☞ CO₂ センサーを用い、店内の最も空気が淀む場所で十分な換気が出来ているか確認してください。
- ☞ パーティションを設置している場合は、店内の換気の流れを阻害していないか確認してください。



② 客席の室温及び相対湿度を 18℃以上かつ 40%以上 70%未満に保つ

- ☞ ①の「十分な換気」を優先しながら、暖房機器や加湿器を使用してください。
- ☞ CO₂ 濃度 1,000ppm 以下が維持できれば「十分な換気」と言えますので、室温・湿度とのバランスを考慮してドア・窓を開放してください。